

ホノテ HONote 通信 by MACROMILL

Vol.95 2017年のお歳暮に関する実態調査

お世話になった方々に感謝の気持ちを込めて物を贈る「お歳暮」。百貨店各社がお歳暮商戦真っ只中の12月第1週に、全国の20～60代の男女2,000人に対してお歳暮事情を調査しました。お歳暮の贈答率や、贈る相手、予算、また、もらいたいお歳暮などについて調査結果をご紹介します。

■ Topics

- お歳暮の贈答率は39%。親戚や両親など近い人へ贈るのが主流
- お歳暮の予算は？贈る相手に関わらず、3,000～5,000円
- もらいたいお歳暮、人気No.1は「肉加工食品」。食べ物や飲み物が人気
- お歳暮離れの危機！？
「お歳暮の風習は知らない」「お歳暮を贈らなくなった」など、ネガティブな意見が約半数

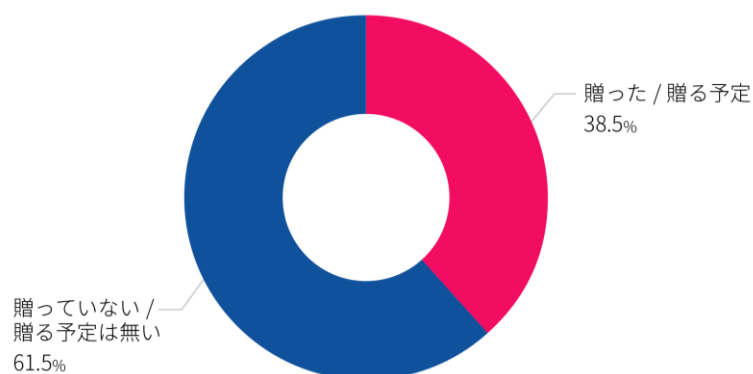
■ 調査結果

【1】お歳暮の贈答率は39%。親戚や両親など近い人へ贈るのが主流

2017年にお歳暮を贈った人（アンケート回答時に「贈る予定」と回答した人も含む。以降も同様）はどれくらいいるのでしょうか。また、どんな相手に贈ったのでしょうか。贈ったと回答した人は全体の39%でした。また贈った人に贈った相手を尋ねると「親戚」が最も多く35%、次いで「自身の父・母」「配偶者の父・母」がそれぞれ25%、「友人・知人」が21%という結果に。お歳暮は「お世話になった方への年末の挨拶・お礼」として贈るものですが、2017年現在、お歳暮は、親戚や両親など血縁関係者に贈るという人が多いようです。

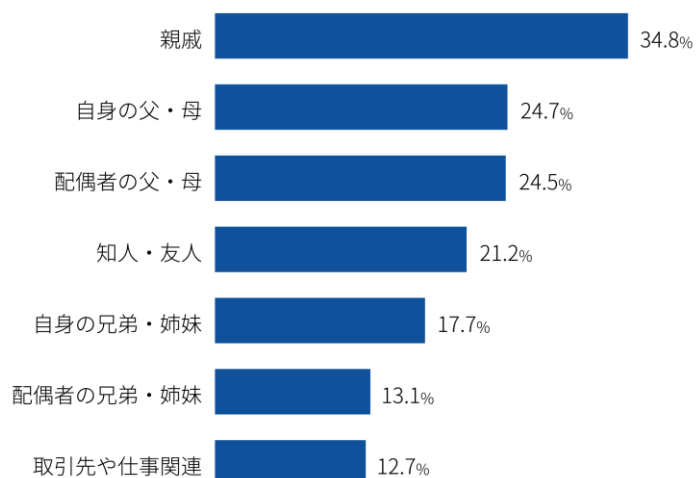
●お歳暮を贈るか

ベース：お歳暮を贈る時期を「知っていた」と回答した人（n=1,947）



●2017 年のお歳暮を誰に贈った（贈る）か

ベース：2017 年にお歳暮を「贈った（贈る）」と回答した人（n=750）

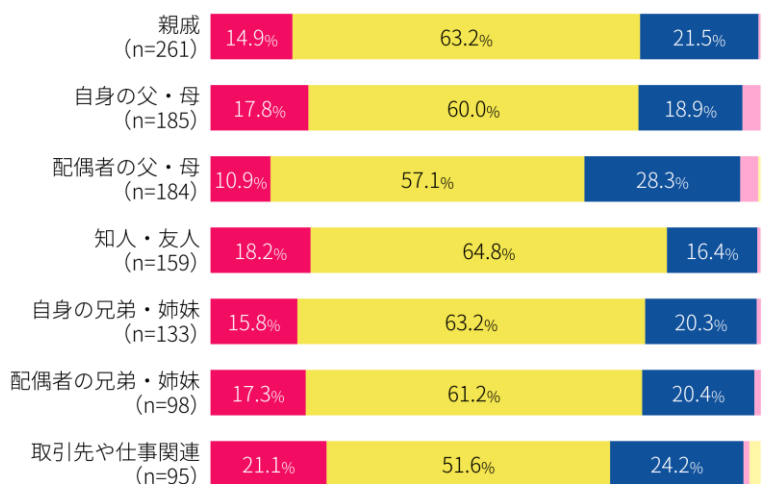


【2】お歳暮の予算は？贈る相手に関わらず、3,000～5,000 円

お歳暮を贈る相手ごとに、1 つあたり予算をどれくらいかけたか尋ねると、贈る相手を問わず 3,000～5,000 円が一番多いことが分かりました。また、誰に贈るお歳暮が、最も予算が高いのでしょうか。5,000 円以上と回答した人が最も多かった贈り先は「配偶者の父・母」で 32%でした。

●お歳暮 1 つあたりの予算

ベース：2017 年に以下の人へお歳暮を「贈った（贈る）」と回答した人（n=750）



※2017 年にお歳暮を贈り先で回答が多かった上位 7 つを抜粋

※5%未満のラベルは非表示

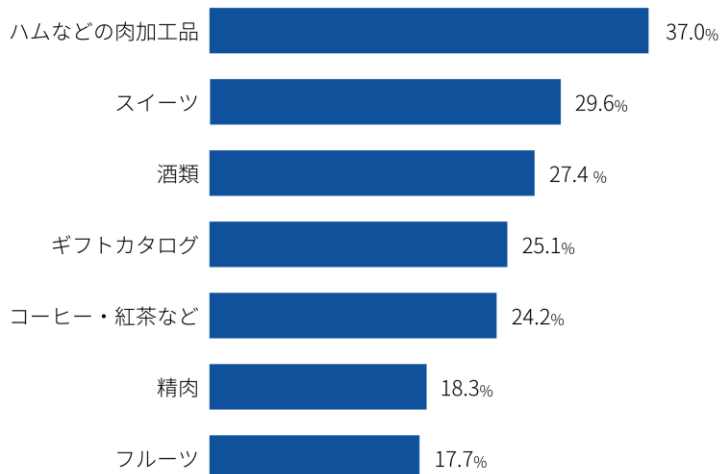
● 3千円未満 ● 3千円～5千円未満 ● 5千円～1万円未満
 ● 1万円～2万円未満 ● 2万円以上

【3】 もらいたいお歳暮、人気 No.1 は「肉加工食品」。食べ物や飲み物が人気

では、お歳暮で何を贈れば喜ばれるのかを確認するため、お歳暮で“もらいたいもの”を尋ねました。一番多かったのは「ハムなどの肉加工食品」で 37%、次いで「スイーツ」30%、「酒類」27%でした。一方で、お歳暮に購入したものを尋ねると 1 位「肉加工食品」32%、2 位「酒類」31%、3 位「スイーツ」20%です。お歳暮は欲しいもの・贈りたいものが比較的一致している傾向にありそうです。

●2017 年のお歳暮にもらいたいもの 上位 7 位

ベース：お歳暮を贈る時期を「知っていた」と回答した人 (n=1,947)



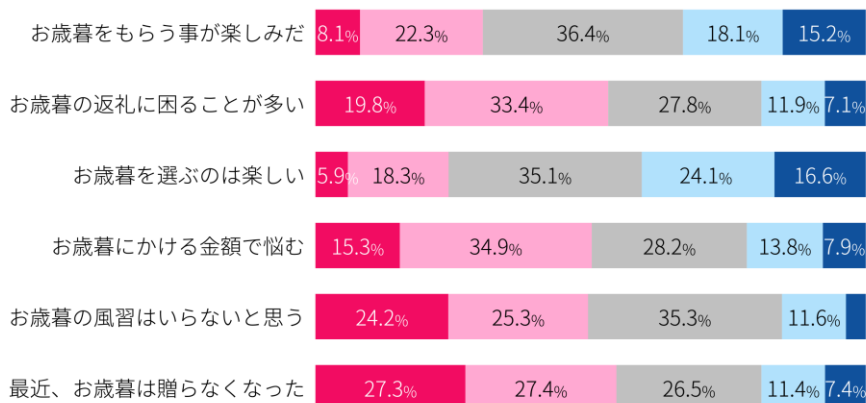
【4】 お歳暮離れの危機！？

「お歳暮の風習はいらない」「お歳暮を贈らなくなった」など、ネガティブな意見が約半数

日本に古くからある“お歳暮”の文化ですが、どのようにとらえている人が多いのでしょうか。お歳暮に対する 6 つの考え方について、賛同するか否かを尋ねました。その結果、「お歳暮をもらうことが楽しみ」と回答した人は 30%だったのに対し、「お歳暮の返礼に困る」と回答した方は 53%。また、「最近お歳暮を贈らなくなった」55%、「お歳暮の風習はいらないと思う」50%という結果でした。お歳暮文化は、ポジティブよりもややネガティブなイメージを持っている人の方が多いようです。

●“お歳暮文化”に関する意識

ベース：お歳暮を贈る時期を「知っていた」と回答した人 (n=1,947)



●とてもそう思う ●そう思う ●どちらともいえない
●そう思わない ●全くそう思わない

▼ 調査の詳細や、その他の調査結果は、以下のURLからダウンロードいただけます。

- ・ お歳暮の時期を理解しているか
- ・ 去年貰ったお歳暮の相手とその商品
- ・ 贈り先別のお歳暮商品
- ・ お歳暮文化について思うこと ……など

市場調査メディア HoNote (ホノテ)

<https://honote.macromill.com/report/20171221/?cid=SL-PR>

▼調査概要

調査主体 マクロミル

調査方法 インターネットリサーチ

調査対象 全国 20～69 歳の男女（マクロミルモニタ会員）

割付方法 平成 27 年国勢調査による、性別×年代の人口動態割付（合計 2,000 サンプル）

調査期間 2017 年 12 月 1 日（金）～12 月 2 日（土）

※本文の数値は四捨五入した整数で表記しています。

※百分率表示は四捨五入の丸め計算をおこなっており、合計が 100%とならない場合があります。

－ 本レポート内容の引用・転載、取材等に関するお問い合わせ先 －

株式会社マクロミル ホノテ事務局：来條

TEL：03-6716-0792 MAIL: voice@macromill.com